

須賀の寺子屋 2024年度支援員スキルアップ研修会③
「平塚市の児童虐待の現状について」～平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会(要対協)について～
ふり返りのまとめ

回答数 17人/受講者17人 小学生担当支援員(6人) ・ 中学生担当支援員(11人)

① 受講の動機をお聞かせください。

支援員全体ミーティングの内容に組み込まれていたもので、自動的に受講した。
大野代表からのご指示もあったが、自分としても平塚市の児童虐待の状況を少しでも知っておきたいと思ったので受講しました。
寺子屋の生徒に関係するので、理解しておく事が必要と思いました。
全員ミーティングの一環として受講。
内容はよくわかりませんでしたが、全員研修会ということだったので参加しました。
こうした研修は、こうした活動に関わる方だけでなく多くの方に必要だと思います。 ただ、自分は児童虐待防止法ができた2000年に教育委員会の担当者として毎年百件を超える事案を見相と扱ってきましたし、国の委員として厚生労働省とも議論したり、動かない見相を脅して動かしたりしてきたので、新たに学ぶことはありませんでした。
児童虐待のテーマでの話はなかなか聞くことが出来ない上、子ども達の実状を把握するためにも大変参考になるとして受講した。
食支援活動を見ていて想像以上に厳しい状況にある家庭が多いということを感じていた。その中で行政がどのような動きをしているのかを知りたいと思った。
子どもと接していく中で、普段と違う様子を発見できるような活動をして行けたらと思い受講しました。
ミーティング前の時間に設定されていたので参加した。興味もありました。
虐待防止や、どのように虐待が発生したときに対応されているか知りたい。
全員ミーティング参加のため
セットされたテーマでした。
寺子屋の研修は、なるだけ参加しようと考えているから
寺子屋の子どもたちにも密接に関わる重要な課題であるため
全員ミーティングと同時開催の研修会は参加者が多く、有意義なテーマだと感じていたから。

② 研修で学んだことは今後の活動に役立ちますか。また、どのように役立ちますか。

全く役立たない(0) あまり役立たない(0) どちらともいえない(2) 役立つと思う(12) 大いに役立つ(0)

子どもに対する虐待の徴候などがないか、私自身のアンテナの感度を高めて、子供たちに接しようと思う。
寺子屋に通う生徒で児童虐待にあつてゐる児童がいなかうかも留意し、もしその兆候があれば必要なアクションをとることを頭に入れておきたいと思ひます。
問題になる件数が多く、何処でも問題が起きる可能性があり、日頃から注意して生徒の様子を見ることが大切と思ひました。
虐待に対する行政の対応組織構成が良く分かつた。現場でどの程度判断できるかについてはあまり自信はない。
初めて現代の子ども達を取り巻く現況の一端を学べた気がするので、今後彼等と接する上で参考にしたいと思ひた。
学習の合間に極力子どもと会話し、少しでも子どもの状況を理解するようにしたい。(実際は一般的な学校生活、部活等の会話がほとんどだと思ひが。)
子ども同士の会話や、食事の様子をよく見ていきたいと思ひう。
気をつけて見ていきたい。
虐待についておおよその事は知つてゐるつもりだったが、改めて全体像が把握できた良かった。
私達ちも通告の責任があることの自覚。緊張。
従前の仕事でも関係ある分野であつたが、「現在」より深刻かつ広範囲におよぶ事態になつてゐると認識した。直接的・間接的に今後の子どもへの指導に活かしたい。
「子どもは守るべき存在であること」を全員の大人が理解していなければなりません。

③ 今回の研修の感想や質問、疑問に思ったこと等を自由にお聞かせください。

行政の取り組み方は理解できた。ただし、下記のような事例が起きないように、実行面で温かみのある配慮を行政にはお願いしたい。(私が直に見聞したケース):ある家庭で、20代前半の母親が子供に虐待の恐れありと認定され、3人の子供たちは保護施設に入れられることになったが、施設の都合により、3人一緒ではなく、別々の施設に収容されることになり、結果、子供たちは離れ離れになった。
以前の仕事で、概要は知っていましたが、虐待が今もなお増えているのは残念でした。潜在的だったものが、言語化されて顕在的になったばかりでないでしょう。社会が厳しくなり、余裕がなく、みんなが生き辛くなってきたのでしょうか。こどもの居場所としての須賀の寺子屋の意義を再認識しました。
公表して良い事悪い事あるとは思いますが、もう少し児童虐待の具体例や最近の傾向にも言及いただければ受講者の理解も深まったのではと思います。 質問としては(1)児童虐待について平塚市ならではの特徴があるのか否か(茅ヶ崎、伊勢原、秦野、藤沢、小田原あたりとの比較で)(2)平塚市内でも地域に拠って何か特徴があるのか否かです。
件数の多さと対応している人数から見て十分対応出来ているのか気になった。
短時間ではあったが、配付資料も準備されていて内容は良く理解できた。
現実に児童虐待又は家庭内問題等存在しているとしても、それを子ども達と学習の場で接する中だけで感じ取ってあげられるかなかなか難しいと思った。
児童虐待は今迄は別の世界という認識だったが、今回の研修で少しは身近に感じられるようになったと思う。
安心できる大人・場所の存在でありたい。
関係機関の方が、こんなにおられても解決しない難しい問題に、私たちも出来る形で関わらなければと思わされた。
社会的な弱者である子どもを守る大切な市議地だと思いました。
2005年から要対協が設置されていたのですね。数値含めて、リアルな状況をお聞きできたのが良かったです。
行政等、関係機関も相当な危機感を持って取り組んでおり、やっと動き始めたというのが素直な感想です。一部の特殊な家庭例などではないということ。
本市に於いても2005年度より「平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会」が設置され対応していることは知っていました。以来20、専門機関だけでなく子どもに携わる市民活動団体でも研修が必要になってしまった実状の厳しさを痛感せざるを得ないです。

④ 今後の研修会で希望するテーマや開催日時等のご意見をお聞かせください。

(1)中学校におけるいじめや不登校の状況について (2)小学校における英語教育の状況について 以上は中学生の学習支援員を続けていく上でより中学生を取り囲む環境を理解しておきたいと思い挙げています。
学校の先生に教える上で工夫している事について話してもらいたい。
来年度更に教科書が改訂され、さらなるデジタル化が進む現状で子ども達への指導方法に関する講習等あれば参加したいと思います。
昨年深谷先生に教師の業務の大変さを教えて頂きましたが、より具体的に教師業務の大変さを教えて頂きたいと思います。子どもに対する責任範囲(学力ー高校への入学、家庭状況への介入、部活への関わり合い、等)が、多分私の想像と全く違うと思うので。
今回のような時間帯は参加人数が多いように思った。 小学生・中学生の心と身体の変化について(保護者も一緒に)
発達障がいの子どもについて
今回のテーマの展開例。具体的なよくあるケースを用いて、ここに気をつける・こんな時に気をつけるなど。
子どもの食支援について、現状(全体的な)を知りたい。
外部講師だけでなく、会員内で専門知識のある支援員さんから子どもに関わる様々なレクチャーを受けたいです。